CSR マージネットニュース
合言葉はコツコツ
2023年 10月 発行　ブランディング委員会 vol.52

社員インタビュー企画②

20代・30代社員に聞く「マージネットってどんな会社?」

今号では、マージネットに勤務する20～30代の社員を集め「マージネットってどんな会社？」をテーマに話を聞いてみました。果たして、マージネットのこれからを担う若手社員たちは自社についてどのように考えているのでしょうか！

インタビュアー　ブランディング委員会　池田が担当しました。

今日は「20-30代に聞く」というテーマで5名に集まってもらいました。業務上はあまり接点のない方もいると思いますが、緊張せず正直な意見を聞かせてくださいね。では早速、20-30代の社員のみなさんから見て、マージネットってどんな会社ですか？

今津（営業部）：地方の中小企業ですが、それ以上のスケールを感じる会社です。商圏の広さ、仕事や取組の内容によるものでしょうか。

坂本（製本部）：「お客さまが日本全国に居る」というのは、入社前はイメージしていなかったことですね。地元にそんな企業があるとは知りませんでした。

伏見（工務部）：建物も何の会社かわからない感じで。「印刷会社には見えない」とよく言われます。

池田(営業部)：どんどん変化している会社だと思います。デザイン会社としてスタートしたはずが今では総合印刷会社になっていますから(笑)。取り扱う商品についても時代のニーズに合わせて積極的にその範囲を拡大しています。

谷本（デジタルプリント課）：前向きな社員を応援してくれる会社なので、いろんなことにチャレンジして自分が成長できる会社だと思います。チャレンジした結果、トラックのドライバーとして入社したはずが、今ではindigo（デジタル印刷機）のオペレーターです。人生どうなるかわかりません(笑)。

坂本：そうですね、あらゆる面で「変化を厭わない」というのは、この会社のひとつの特徴かもしれません。

なるほど。「地方らしくない・印刷会社らしくない」「変化し続ける会社」という認識だと。特に後者の「変化し続ける会社」といった部分については、社員のみなさんからすれば大変そうですが・・・。

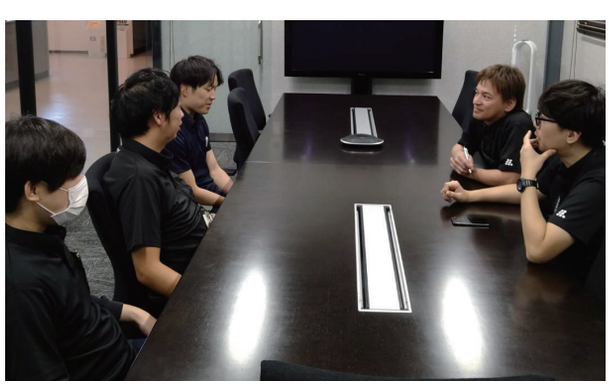
谷本：やり方を抜本的に変える事で、今まで何時間もかけていたような作業が数十分で終わるようになったり、今まではお断りしていたような仕事が社内できるようになったりと、苦労した分得られる効用は大きいです。ここで言う苦労は“成長痛”のようなものかと。

池田：そうですね、やはり変化には痛みが伴うので・・・全社に無理なく周知・定着させるための仕組みづくりが大変です。大変ですが、長期的に見て現状維持は組織にとってより大変な状況を招くことになるので、積極的に変化を受け入れるようにしています。

伏見：さすがに新しいシステムの導入直後などは、使い方を覚えるのに苦労します。慣れてしまえばなんてことはないのですが。慣れてしばらく経つと「いやー、すごいことやってるな」と我ながら思いますね(笑)。

坂本：例えば業務上のDX推進に関しても、ぼくたちの

裏面へ続く ⇨



TOTAL PRINTING MERGENET
【本　社】
〒649-2103 和歌山県西牟婁郡上富田町生馬811-1
TEL.0739-83-3344
FAX.0739-83-3322
【和歌山営業所】
〒640-8287 和歌山県和歌山市築港2-8-2築港センタービル１階
TEL.073-425-3313
FAX.073-425-3349
【東京営業所】
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町1-8-3-4F
TEL.03-6712-6377

24000439(03)
P-00131
FSC www.fsc.org FSC® C171945
Instagram

世代はデジタル環境が比較的身近にあったのですんなり受け入れられましたけど、上の世代の人たちはまず「今までのやり方を改める」というステップがあるので大変だったろうなと思います。また一方で、先輩方も数々の変化を経て現在に至っているはずなので、我々も負けられないなと。

今津：今までの良い部分をどんな形で残しながら変わっていくか、というバランスも重要ですよね。ただ強引に変えるだけでは新しいやり方に納得がいかない人も出てくる。当社の場合、その辺りは池田さんの言うような仕組みづくりでうまくクリアできているような気がしますけど。

変化には痛みが伴うが、その分成長している実感があったり、課題をクリアする方法を編み出していると・・・素晴らしいじゃないですか！

伏見：念のためもう一度言いますが、大変でないとは言ってませんよ！（笑）　大変ですが、苦労しながらも少しずつ、確実に良い方向に向かって進んでいる手応えは感じています。

その手応えが、みなさんのモチベーションになっているのかも知れませんね。それでは最後に、マージネットの次世代を担うみなさんは今後、マージネットをどうしていきたいと考えていますか？

坂本：社屋や設備をはじめとしたハード面では、少しずつですがマージネットというブランドが確立されつつあると感じています。これからは働く人の心持ちや振る舞い、信条など、いわゆるソフト面についても強いものを持つ会社にしていきたいです。

池田：今や時代は目まぐるしいスピードで変化していますし、当然、紙の印刷物の需要はシュリンクしていくものだと思います。そうした流れの中においても、紙の印刷物の新しい価値を提供したり、時代のニーズに合致した価値を提案できるような時代に取り残されない会社にしていきたいです。

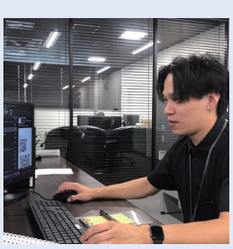
今津：そうですね。印刷会社なので印刷物をつくることは当然なのですが、最終的な解決が印刷物でなくとも、「とりあえずマージネットに相談してみるか」と思われるような会社になれば良いなと思います。「印刷会社」としてではなく「問題や課題を解決してくれる会社」と認知されるような。そうすることで印刷物の需要には左右されない、強い会社になるはずなので。

谷本：先輩たちが築いてくれた良き部分を引継ぎながら、我々世代にしかできない仕事の方法を編み出し、成長させていきたいです。

伏見：本業を通じてというのももちろんですが、CSR活動や環境保護活動、社内委員会活動等、積極的な取り組みを通じて認知度を高めて、この会社で働きたいと思ってもらえるようにしたいです。

頼もしい限りです！今までの良いところは引継ぎながら、みなさんの世代ならではのアイデアや方法で、マージネットに時代の先を見据えた変化をもたらしてくれることを期待しています。本日はありがとうございました。

新入社員紹介



営業部
堀　元樹

マージネットに入社してみて？

印刷会社の営業という未知の世界に飛び込みましたが、お客様や先輩とのお話を通じて日に日に知識が増えていくことがとても楽しいです。何よりもお客様からいただく「ありがとう」の一言が嬉しく思います。

今後の目標は？

先輩にご指導頂きながら印刷に関する知識を身に付けることはもちろんですが、知識を応用したり、機転を利かせたりすることでプラスアルファの満足をお届けできる営業マンになりたいと思います。

製本部
木村　祐太

マージネットに入社してみて？

少しずつできる仕事や扱える機械も増えてきましたが、まだまだ先輩方には迷惑をかける事も多いので、わからないことはすぐに聞いてスキルを身に付けたいです。

今後の目標は？

製本部は効率が要です。仕組みや仕事の流れを覚えて、全体の作業効率が上がるようにしたいです。また、お客様の目線に立ってご満足頂ける商品づくりを心がけていきたいです。